

## 尚恵学園在り方検討委員会（第1回）結果

◇日 時：平成28年8月3日（水）pm6:30~8:00

◇場 所：いな穂

◇結果（内容）

第1回目ということから、委員会設置要項に基づいて特に委員会開催の趣旨、所掌事務の内容、会議の持ち方や理事会への上げ方について確認し、また、尚恵学園の拠点整備の方針及び運営方針の在り方について議論を進めるにあたっては、初代理事長の経営理念（抜粋資料添付「今後への道」）を絶えず根底に置くことを確認し合った。

理事会への提言等の提出時期や内容に関しては、本日のところは今後の会議の進展具合によることとし明確な時期、内容は今後の議論の深まりや会議の進展によることとした。

次に、各の委員から、各々の施設での日中活動の現状や主な問題・課題等について、日中活動に利用されている施設の現況（資料）と照らし合わせながら、詳細な説明・報告がなされた。それにより、あらためて高齢化や行動障害への対応に迫られていることや、特定の施設建物の改築等に当たっては市の都市計画上の制約が有ることなどの課題が明らかになるとともにコスモスではそのサービスの形態上からもスタッフ、利用者ともに落ち着いた日中活動生活が出来るような状態になっていないことも報告された。

今後、当学園の拠点的な日中活動の場の整備を具体的なイメージの下で論じ合うためには、特に旧成人寮建物（諏訪寮）の撤去を早急に進めることを確認した。（これにより撤去費用関係、撤去後の残存施設及び敷地形態などを明らかにする。）なお、移転した新成人寮では職住分離が理想的な状態にあるとのこと。

オブザーバー（理事長、植村理事）からは、ひとつには、日中活動の中で例えば慣れて後回しにしてしまいがちな基本的な職務をしっかりと職員間で申し送りする重要性や、例えば物品の適正な管理やまた例えば利用者どうしのトラブルへの的確な対応など各人の責任の持ち方を改めて考える場の必要性が、またふたつには、全職員が早い時期に尚恵学園運営全般に関する自由闊達な意見（日中活動拠点整備に限らず）を出し合う必要性が指摘された。いずれも第2回委員会以降対応する。

次回第2回検討委員会は、9月第2水曜日の14日午後6時30分から開くこととなった。